

## ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)

ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)は感染症法上5類の全数把握疾患である。疾患の定義は、ウイルス感染を原因とする急性肝炎(B型肝炎、C型肝炎、その他のウイルス性肝炎)であり、慢性肝疾患、無症候性キャリア及びこれらの急性増悪例は含まない。千葉県では、2010年3例、2011年8例、2012年4例、2013年4例、2014年6例、2015年1～30週に7例の届出があった。

2010年から2015年30週までに届出された32例の発生状況は次のとおりだった。

病型別ではB型28例(87.5%)、C型2例(6.3%)、サイトメガロウイルス2例(6.3%)だった(表3)。

病型がB型28例の性別は、男性17例(60.7%)、女性11例(39.3%)だった(表3)。年齢群別は、5～9歳1例(3.6%)、20代7例(25.0%)、30代7例(25.0%)、40代6例(21.4%)、50代5例(17.9%)、60代1例(3.6%)、70代1例(3.6%)だった(表3)。診断方法別では、血清検査によるIgM HBe抗体の検出(明らかなキャリアからの急性増悪は含まない)が27例(96.4%)、その他の方法(PCR法)が1例(3.6%)だった。症状等は、黄疸23例(82.1%)、肝機能異常22例(78.6%)、褐色尿20例(71.4%)、全身倦怠感18例(64.3%)、発熱8例(28.6%)、嘔吐7例(25.0%)だった(複数報告あり)。

病型がC型2例の性別は、男性1例(50.0%)、女性1例(50.0%)だった(表3)。年齢群別は40代1例(50.0%)、60代1例(50.0%)だった(表3)。診断方法別では、ペア血清での第2あるいは第3世代HCV抗体の検出が2例(100.0%)、血清でのHCV抗体陰性かつHCV RNA又はHCVコア抗原の検出が1例(50.0%)だった(複数報告あり)。症状等は、肝機能異常2例(100.0%)、黄疸1例(50.0%)だった(複数報告あり)。

病型がサイトメガロウイルス2例の性別は、男性2例(100.0%)だった(表3)。年齢群別は50代1例(50.0%)、70代1例(50.0%)だった(表3)。診断方法別では、IgM抗体2例、IgG抗体1例だった(複数報告あり)。症状等は、全身倦怠感2例(100.0%)、肝機能異常2例(100.0%)、黄疸1例(50.0%)、発熱1例(50.0%)だった(複数報告あり)。

表3 2010年～2015年30週千葉県ウイルス性肝炎 病型別・性別・年齢群別届出数

病型 性別	B型		C型		サイトメガロウイルス	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
5歳未満	0	0	0	0	0	0
5～9歳	1	0	0	0	0	0
10代	0	0	0	0	0	0
20代	6	1	0	0	0	0
30代	3	4	0	0	0	0
40代	4	2	1	0	0	0
50代	3	2	0	1	1	0
60代	0	1	0	0	0	0
70代	0	1	0	0	1	0
合計	17	11	1	1	2	0

## &lt;参考&gt;

厚生労働省 肝炎総合対策の推進

URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/index.html>

国立感染症研究所病原微生物検出情報

<特集>A型肝炎(IASR Vol. 36 No. 1 (No. 419))

URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-vol36/5349-iasr-419.html>

<特集>E型肝炎(IASR Vol. 35 No. 1 (No. 407))

URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-vol35/4278-iasr-407.html>